

2015年9月30日

各位

会社名 株式会社東京個別指導学院
 代表者名 代表取締役社長 齋藤 勝己
 (コード番号 4745・東証第一部)
 問合せ先責任者 取締役 舟戸 彰一
 TEL 03-6911-3216
 当社の親会社 株式会社ベネッセホールディングス
 代表者名 代表取締役会長兼社長 原田 泳幸
 (コード番号 9783・東証第一部)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2015年4月8日付にて公表した2016年2月期第2四半期累計期間業績予想を下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2016年2月期第2四半期累計期間業績予想数値の修正(2015年3月1日～2015年8月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	7,793	82	84	63	1円17銭
今回修正予想(B)	7,906	160	163	81	1円49銭
増減額(B-A)	113	77	78	17	
増減率(%)	1.5	93.6	92.5	28.2	
ご参考:前期第2四半期実績 (2015年2月期第2四半期)	7,354	81	84	37	69銭

2. 修正の理由

当第2四半期累計期間においては、中期経営計画「Dynamic Challenge 2017」に掲げた「サービスポートフォリオ拡充×都市部ドミナント戦略」に基づき、積極的な新規教室開校を実施いたしました。また、テレビCM放映、交通広告、インターネット広告などを効果的に組み合わせたクロスメディア手法にて、積極的に広告宣伝活動を展開いたしました。これらが奏功し、問合せ件数および入会者数が過去最高を記録し、第2四半期末の在籍生徒数を大幅に押し上げました。夏期講習会においても好調な実績で終えることができました。

その結果、売上高は、前回予想を113百万円(増減率+1.5%)上回る見込みであります。対前年では、552百万円の増収、増減率+7.5%の見込みであります。

さらに、増収による増益効果、ドミナント戦略によるマーケティングコストの効率化、地道なコスト削減などの効果がプラス要因となり、営業利益においても、前回予想を77百万円(増減率+93.6%)上回る見込みであります。対前年では、78百万円の増益、増減率+96.3%の見込みであります。

尚、四半期純利益については、第2四半期業績予想作成時において、法人税等調整額の見積りに相違がありましたため、今回修正予想における営業利益ならびに経常利益の増減率との比較では下回る見込みとなります。

通期業績予想につきましては、現在策定中であり、2015年10月7日に予定しております第2四半期決算発表時にお知らせいたします。

(注)上記業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しておりますので、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上